

三重県における主な気象災害(1945年以降)

2017年12月15日現在

発生年月日	要因	主な被害地域	概況	主な被害					
				死者 行方不明 (名)	負傷者 (名)	住宅 全壊 流出 (棟)	住宅 半壊 一部破損 (棟) 1987年 までは 住家半壊 のみ	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
1950 (昭25) 9.3	台風第28号 (ジェーン台風)	全域	台風第28号が紀伊水道に入り、若狭湾に抜けた。風による被害が大きかった。 最大風速 津 SE 28.4m/s 最大風速 尾鷲 S 20.8m/s 総降水量 津 65mm 総降水量 尾鷲 401mm	3	22	197	317	56	159
1953 (昭28) 8.15	前線	北勢 伊賀	日本海から南下した前線による豪雨で、伊賀地方で山崩れにより、多数の人命を失う大惨事となった。 総降水量 上野 291mm 総降水量 尾鷲 461mm	32	243	199	152	2240	10571
1953 (昭28) 9.25	台風第13号	全域	台風第13号が熊野灘を北上、志摩半島を横切り知多半島に上陸した。満潮と重なり高潮で海岸線がほとんど壊滅、未曾有の大被害となった。 最大風速 津 E 23.6m/s 最大風速 尾鷲 ENE 22.0m/s 総降水量 津 225mm 総降水量 尾鷲 408mm 最高潮位(標高) 鳥羽 175cm	44	910	1465	3472	37706	31726
1956 (昭31) 9.25 ~27	台風第15号	全域	台風第15号が志摩半島沖を通過し、御前崎付近に上陸した。関西線加太付近で山崩れが発生、列車転落により犠牲者が多数。 最大風速 津 NNW 17.7m/s 最大風速 亀山 NW 18.0m/s 総降水量 津 172mm 総降水量 亀山 238mm	12	9	6	19	751	5291
1958 (昭33) 1.26 ~27	低気圧	南部の 海上	日本海低気圧の発達で海上は大しけとなり、紀勢町、南勢町の漁船が相次いで遭難。南勢町田曾浦でタンカーが沈没。 最大風速 亀山 NW 17.7m/s 最大風速 尾鷲 W 12.4m/s	11					
1959 (昭34) 8.12 ~14	台風第7号	全域	台風第7号が静岡県富士川市付近に上陸し、前線の活発化により大雨となった。特に北勢地方の多度川が決壊し、被害甚大。 総降水量 津 464mm 総降水量 亀山 468mm 総降水量 上野 222mm 総降水量 尾鷲 530mm	4	3	28	38	5415	16752

発生年月日	要因	主な被害地域	概況	主な被害					
				死者 行方不明 (名)	負傷者 (名)	住宅 全壊 流出 (棟)	住宅 半壊 一部破損 (棟) 1987年 までは 住家半壊 のみ	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
1959 (昭34) 9.23 ~26	台風第15号 (伊勢湾台風)	全域	台風第15号は非常に大きな暴風域を保ったまま潮岬付近に上陸し、三重県の西側を北上した。上陸時の中心気圧は929.5mbで、この値は室戸、枕崎台風と並ぶ明治以後の3大台風数えられる。上陸時の暴風域は半径250km、中心付近の最大風速は50m/sであった。台風経路の右側にあたる伊勢湾沿岸に26日夜に来襲し、高潮と烈風により壊滅的な被害を受けた。 最大風速 津 ESE 36.8m/s 最大風速 亀山 SE 28.4m/s 最大風速 上野 E 24.2m/s 最大風速 尾鷲 SE 28.1m/s 総降水量 津 405mm 総降水量 亀山 311mm 総降水量 上野 333mm 総降水量 尾鷲 689mm	三重県 1273 愛知県 3351 総数 5041	三重県 4625 総数 38838	5208	12192	44423	35806
1960 (昭35) 10.6 ~7	低気圧と前線	南部	南岸に停滞した前線の活発化で、南部大雨により、伊勢湾台風にも勝る被害。7日降水量 尾鷲 521mm	6	6	34	13	1304	2645
1961 (昭36) 6.24 ~29	梅雨前線 (昭和36年 梅雨前線豪雨)	全域	南岸に停滞した梅雨前線の活発化で、北部と南部で大雨、特に北勢地方で被害甚大。 総降水量 津 559mm 総降水量 亀山 588mm 総降水量 上野 385mm 総降水量 尾鷲 1057mm	15	11	16	37	2235	13100
1961 (昭36) 9.16	台風第18号 (第2室戸台風)	全域	台風第18号が室戸岬の西に上陸し、猛烈な暴風雨となり、大きな被害を受けた。 最大風速 津 SSE 27.4m/s 最大風速 亀山 WSW 23.3m/s 最大風速 上野 SSW 20.7m/s 最大風速 尾鷲 ESE 15.7m/s 総降水量 津 126mm 総降水量 亀山 125mm 総降水量 上野 65mm 総降水量 尾鷲 321mm	3	54	207	491	61	3068
1965 (昭40) 9.17	台風第24号 と前線	全域	台風第24号が熊野灘沿岸から、志摩半島に上陸、伊勢湾口を縦断した。台風の北上に伴い、本州南岸の前線が活発化し大雨となった。 最大風速 津 NW 22.5m/s 最大風速 尾鷲 WNW 16.5m/s 総降水量 津 214mm 総降水量 尾鷲 611mm	2	8	12	50	1038	8264
1967 (昭42) 10.27 ~28	台風第34号	全域	台風第34号が志摩半島をかすめ、愛知県南部に上陸した。熊野市の国道42号線改修工事現場で鉄砲水が発生し、犠牲者多数。 総降水量 津 232mm 総降水量 上野 136mm 総降水量 尾鷲 401mm	23	4	16	19	666	5788

発生 年月日	要因	主な 被害地域	概況	主な被害					
				死者 行方不明 (名)	負傷者 (名)	住宅 全壊 流出 (棟)	住宅 半壊 一部破損 (棟) 1987年 までは 住家半壊 のみ	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
1971 (昭46) 8.30 ~31	台風第23号	全域	台風第23号が九州佐多岬に上陸、紀伊半島を横断し本県中部を通った。大雨による被害が大きかった。 最大風速 津 ESE 19.2m/s 最大風速 尾鷲 E 11.5m/s 総降水量 津 304mm 総降水量 尾鷲 560mm	4	11	18	6	3397	15284
1971 (昭46) 9.9 ~10	前線	南部 (尾鷲市) (熊野市)	台風第25号が通過後、前線が北上活発化、尾鷲で記録的な豪雨となった。急傾斜地での崩壊で犠牲者多数。 総降水量 木本 632mm 総降水量 尾鷲 1095mm 最大1時間降水量 尾鷲 92mm	42	39	63	8	459	741
1971 (昭46) 9.26	台風第29号	全域	台風第29号が紀伊半島南端に上陸し、尾鷲付近から伊勢湾に入った。規模は小さかったが、県内一帯が大雨となった。高波により釣り人が遭難した。 最大風速 津 NW 15.2m/s 最大風速 尾鷲 ENE 11.3m/s 総降水量 津 182mm 総降水量 尾鷲 203mm	8	4	6	3	2254	18832
1974 (昭49) 7.6 ~8	台風第8号 と前線	全域 (伊賀を除く)	台風第8号が九州西方海上を北上、梅雨前線の影響で県下は断続的に強雨が降り、伊勢志摩や南部では400~500mmの大雨となった。 総降水量 津 134mm 総降水量 尾鷲 535mm	2	8	8	9	3343	11146
1974 (昭49) 7.24 ~25	低気圧	北部 中部	南岸を東進した低気圧が紀伊半島の南海上から北上し、三重県を縦断した。山間部で400~500mm、平野部で300mmを超える大雨となった。 総降水量 津 331mm 総降水量 四日市 306mm	10	24	25	25	14333	27538
1976 (昭51) 9.8 ~13	台風第17号 と前線	北部 中部	台風第17号が九州南西海上に停滞、前線が日本海から南下、6日間にわたる降雨が続いた。特に飯南、多気の両郡では豪雨となり、大被害を受けた。 総降水量 津 574mm 総降水量 四日市 575mm 総降水量 粥見 1002mm 総降水量 大台 1054mm	2	2	5	8	1554	10299
1982 (昭57) 8.1 ~3	台風第10号 と前線	全域	台風第10号が志摩半島をかすめ、渥美半島西部に上陸した。中部で大雨となり、名松線の前線が土砂崩れのため不通となり、嬉野町小原で民家4棟が土砂で押しつぶされた。その後南岸の前線と台風第9号から変わった低気圧による大雨で、南勢地方で多くの浸水被害が発生した。 総降水量 津 342mm 総降水量 上野 362mm 総降水量 尾鷲 580mm	24	17	88	111	1875	7060

発生年月日	要因	主な被害地域	概況	主な被害					
				死者 行方不明 (名)	負傷者 (名)	住宅 全壊 流出 (棟)	住宅 半壊 一部破損 (棟) 1987年 までは 住家半壊 のみ	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
1988 (昭63) 8.15 ~16	台風第11号 台風第13号	全域	台風第11号が15日20時に潮岬付近に上陸し、上陸後熱帯低気圧となり紀伊半島を北上。また別の熱帯低気圧が16日09時に台風第13号となり、伊勢湾を北上。このため、北中部を中心に大雨による浸水害が発生。 総降水量 津 210mm 総降水量 亀山 256mm 総降水量 尾鷲 248mm				28	70	1725
1989 (平1) 9.5 ~6	前線	北・中部	本州付近に停滞する前線の影響により北中部で大雨となり、浸水害が発生。 総降水量 津 164mm 総降水量 桑名 182mm 総降水量 四日市 188mm					24	1446
1990 (平2) 9.19 ~20	台風第19号 と前線	全域	台風第19号が19日20時過ぎに和歌山県白浜町付近に上陸した後、夜にかけて三重県を縦断し、県内は各地で激しい風雨に見舞われ、多くの被害が発生した。 最大風速 津 ESE 32.6m/s 最大風速 四日市 SE 20.2m/s 最大風速 尾鷲 SSE 22.0m/s 最大瞬間風速 津 ESE 43.9m/s 最大瞬間風速 四日市 ESE 40.2m/s 最大瞬間風速 尾鷲 SE 56.1m/s 総降水量 津 119mm 総降水量 尾鷲 332mm		18	28	14579	80	458
1990 (平2) 9.29 ~30	台風第20号	全域	台風第20号は30日9時30分頃和歌山県白浜町付近に上陸し、北東進して県南部から志摩半島を通過し海上へ抜けた。この台風により全域で激しい風・雨に見舞われ、松阪市と大台町で増水した川に転落して2名が死亡したほか、多数の浸水害が発生した。 総降水量 津 204.5mm 総降水量 宮川 405mm 総降水量 尾鷲 508.5mm 最大1時間降水量 宮川 87mm 最大1時間降水量 尾鷲 91.0mm	2	3	2	48	67	1246
1991 (平3) 9.18 ~19	台風第18号 と前線	全域	本州付近に停滞していた秋雨前線と本州の南海上を北東進する台風第18号の影響で、県内各地で激しい雨に見舞われ、紀州から志摩半島を中心に300~500mmの大雨となった。 総降水量 津 198.0mm 総降水量 四日市 184.5mm 総降水量 鳥羽 484mm 総降水量 尾鷲 537.0mm	2	2	2	22	168	1019
1993 (平5) 11.12 ~13	低気圧	中部 南部	四国付近の低気圧が発達して北東に進み、南海上から暖かく湿った空気が流れ込んだため、県内の所々で大雨となった。 総降水量 津 189.5mm 総降水量 宮川 295mm 総降水量 尾鷲 443.0mm 1時間降水量 津 76.0mm				1	61	1303

発生年月日	要因	主な被害地域	概況	主な被害					
				死者 行方不明 (名)	負傷者 (名)	住宅 全壊 流出 (棟)	住宅 半壊 一部破損 (棟) 1987年 までは 住家半壊 のみ	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
1994 (平6) 9.28 ~30	台風第26号	全域	台風第26号は29日19時過ぎに和歌山県南部に上陸した後、夜にかけて三重県の西側を通過した。県内は各地で暴風雨に見舞われ、多くの住宅や農業、林業、養殖漁業などに大きな被害が発生した。また、津市雲出鋼管町の日本鋼管津製作所で、岸壁に係留していた建造中の貨物船2隻(ともに15万t)の綱が切れて流され、約2km離れた御殿場海岸に並んで乗り上げた。 最大風速 津 ESE 34.1m/s 最大風速 四日市 ESE 21.8m/s 最大風速 上野 E 17.5m/s 最大風速 尾鷲 E 21.4m/s 最大瞬間風速 津 ESE 48.7m/s 最大瞬間風速 四日市 ESE 43.1m/s 総降水量 津 117.0mm 総降水量 尾鷲 452.0mm		4	4	2049	118	417
1997 (平9) 7.25 ~27	台風第9号	全域	台風第9号は26日17時過ぎ徳島県阿南市付近に上陸した後、岡山県に再上陸した。県内は各地で暴風雨に見舞われ、被害は全域に及んだ。 最大風速 津 E 26.6m/s 最大風速 上野 E 20.2m/s 最大風速 尾鷲 E 19.3m/s 最大瞬間風速 津 ESE 35.4m/s 最大瞬間風速 上野 ENE 38.1m/s 最大瞬間風速 尾鷲 ENE 38.3m/s 総降水量 津 133.5mm 総降水量 宮川 786mm 総降水量 尾鷲 602.0mm		1	2	41	133	239
1998 (平10) 9.21 ~24	台風第7号 台風第8号	全域	台風第8号は21日16時前和歌山県田辺市付近に上陸した後、温帯低気圧に弱まったが、続いて北上した台風第7号が22日13時過ぎ和歌山県御坊市付近に上陸し、夕方にかけて三重県の西側を通過した。県内は各地で暴風に見舞われ、多くの死者、けが人等被害が発生した。 最大風速 津 SE 29.8m/s 最大風速 四日市 WSW 24.1m/s 最大風速 上野 SW 25.9m/s 最大風速 尾鷲 SSE 19.7m/s 最大瞬間風速 津 SSE 48.0m/s 最大瞬間風速 四日市 WSW 49.4m/s 最大瞬間風速 上野 SSW 56.4m/s 最大瞬間風速 尾鷲 WSW 44.0m/s 総降水量 津 115.0mm 総降水量 尾鷲 337.5mm	3	92	6	4345	14	16
2000 (平12) 9.10 ~12	台風第14号 と前線	全域	南海上の台風第14号や日本海の前線の影響で南から暖かく湿った空気が入り、大気の状態が不安定となり県内の各所で豪雨となった。 総降水量 津 354.5mm 総降水量 桑名 431mm 総降水量 宮川 655mm 総降水量 尾鷲 647.5mm	1	1		3	319	3064

発生年月日	要因	主な被害地域	概況	主な被害					
				死者 行方不明 (名)	負傷者 (名)	住宅 全壊 流出 (棟)	住宅 半壊 一部破損 (棟) 1987年 までは 住家半壊 のみ	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
2001 (平13) 9.30 ~10.1	低気圧と前線	南部	東シナ海の前線上に発生した低気圧が日本海を発達しながら北東進し、三陸沖に進んだ。暖かく湿った空気が入り、南部で大雨となった。 総降水量 尾鷲 372.0mm 総降水量 熊野 285mm 総降水量 御浜 377mm			1	8	241	487
2004 (平16) 9.28 ~30	台風第21号と前線	全域	台風第21号が九州の西海上を北東進し、29日08時30分頃鹿児島県串木野市付近に上陸し、高知県宿毛市付近に再上陸した後大阪市付近へ達した。本州付近に停滞した前線に向かって南東から暖かく湿った気流が流れ込み、28日夜から激しい雨が降り出し、29日朝から昼過ぎにかけて紀勢・東紀州や中部を中心に記録的な大雨となった。宮川村では大規模な斜面崩壊や土石流などがいたる所で発生し、死者6人、行方不明1人、重傷者2人、海山町では町内を流れる船津川の氾濫により死者2人、床上浸水1625棟と、いずれも過去に経験したことのない大災害となった。また、津市内でも床上浸水451棟の大きな災害となった。 総降水量 津 440.5mm 総降水量 粥見 575mm 総降水量 尾鷲 876.0mm 総降水量 御浜 424mm 最大1時間降水量 尾鷲 133.5mm 最大1時間降水量 宮川 139mm	10	2	35	52	2512	3208
2007 (平19) 2.14 ~15	低気圧	南部の海上	日本海低気圧の発達で海上では南西の風が非常に強く、外海でしけとなり、大王埼灯台沖で貨物船が沈没。 最大風速 尾鷲 W 12.4m/s 最大瞬間風速 尾鷲 W 24.2m/s	9					
2009 (平21) 10.7 ~8	台風第18号	全域	台風第18号は8日0時には潮岬の南海上から三重県南部沿岸を北東に進み、5時過ぎに愛知県知多半島付近に上陸し、本州を北東に進んだ。県内は各地で暴風雨に見舞われ、被害は全域に及んだ。 最大風速 津 NNW 25.1m/s 最大風速 尾鷲 NE 23.6m/s 最大瞬間風速 津 N 37.3m/s 最大瞬間風速 尾鷲 NNE 42.0m/s 総降水量 津 194.0mm 総降水量 尾鷲 272.5mm 最大1時間降水量 津 72.5mm		3		211	18	161

発生年月日	要因	主な被害地域	概況	主な被害					
				死者 行方不明 (名)	負傷者 (名)	住宅 全壊 流出 (棟)	住宅 半壊 一部破損 (棟) 1987年 までは 住家半壊 のみ	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
2011 (平23) 8.30 ~9.5	台風第12号	全域	<p>台風第12号は9月3日10時前に高知県東部に上陸してゆっくりとした速度で北上し、18時頃に岡山県南部に再上陸した後、中国地方を北上して4日未明に日本海へ抜けた。1日から5日朝にかけて南部を中心に長時間にわたって激しい雨が降ったため、記録的な降水量となり、土砂災害、浸水害が多数発生。</p> <p>最大風速 津 ESE 23.7m/s 最大瞬間風速 津 ESE 32.5m/s 総降水量 宮川 1630.0mm 総降水量 尾鷲 928.5mm 総降水量 熊野新鹿 758.5mm 総降水量 御浜 1085.5mm 最大1時間降水量 尾鷲 88.0mm 最大1時間降水量 宮川 89.0mm 最大1時間降水量 熊野新鹿 101.5mm 最大1時間降水量 御浜 92.5mm</p>	3	17	81	1146	702	832
2012 (平24) 9.30	台風第17号	全域	<p>台風第17号は強い勢力を維持したまま三重県沿岸を北上したため、県内では大雨、強風、海上で大しけとなった。また、満潮時刻と重なったため潮位が高くなった。大雨や高潮による浸水害が四日市市・鳥羽市等で発生した。</p> <p>最大風速 津 E 17.9m/s 最大瞬間風速 尾鷲 E 30.4m/s 総降水量 四日市 223.5mm 総降水量 宮川 267.5mm 最大1時間降水量 四日市 76.0mm 最大1時間降水量 笠取山 71.0mm 最高潮位(標高) 鳥羽 190cm</p>	1	8		14	204	1100
2013 (平25) 9.15 ~16	台風第18号	全域	<p>台風第18号は大型の勢力を維持したまま三重県沿岸を北上したため、県内では大雨、強風、海上で大しけとなった。また、台風が潮岬の南南西の海上を北北東に進んでいた21時10分頃、志摩市志摩町片田で強さF0の竜巻によると見られる突風が発生した。</p> <p>最大風速 津 E 19.9m/s 最大瞬間風速 上野 N 33.4m/s 総降水量 尾鷲 432.5mm 総降水量 宮川 580.0mm 最大1時間降水量 尾鷲 61.5mm 最大1時間降水量 笠取山 63.5mm</p>	2	9	1	156	52	59

発生 年月日	要因	主な 被害地域	概況	主な被害					
				死者 行方不明 (名)	負傷者 (名)	住宅 全壊 流出 (棟)	住宅 半壊 一部破損 (棟) 1987年 までは 住家半壊 のみ	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
2017 (平29) 10.21 ~23	台風第21号	全域	<p>台風第21号は、10月22日夜遅くには東海道沖を北北東に進んだ後、23日03時頃に超大型の強い勢力で静岡県御前崎市付近に上陸した。三重県では21日から台風第21号や前線の影響により雨が降り、23日にかけて大雨となった。また、台風が三重県に最も接近した23日未明には暴風となった。</p> <p>最大風速 上野 NNW 18.8m/s 最大瞬間風速 津 NW 35.4m/s 総降水量 尾鷲 796.0mm 総降水量 御浜 650.0mm 最大1時間降水量 尾鷲 90.5mm 最大1時間降水量 御浜 73.5mm</p>	2	13	1	451	688	1328

選定基準 : 次のいずれかに該当

1945~1987年 死者:10名、住家全壊+住家半壊:500棟、床上浸水:1000棟【創立百年誌より】

1988~2003年 死者:5名、住家全壊+住家半壊+住家一部破損:100棟、床上浸水:100棟、床上浸水+床下浸水:1000棟
【三重県災害の概況より】

2004~2017年 死者:5名、住家全壊+住家半壊+住家一部破損:100棟、床上浸水:100棟、床上浸水+床下浸水:1000棟
【気象災害報告より】